

令和6年度 庄内小学校 研究主題

主体的に課題に向い、よりよく問題解決する子どもを育てる金融教育
～金融4つの分野を視野にいた対話的・体験的活動を通して～

金融教育 研究の目標

主体的に課題に向い、よりよく問題解決する子どもをそだてるために、金融4つの分野を視野に入れた対話的・体験的活動を位置づけた授業の有効な手立てを究明する。

主体的に課題に向い、よりよく問題解決する子ども

生活に生かそう
とする意識を高
めるための終末
の工夫

- ・家でお金の使い方について考える。
- ・生き方についてお金を視野に入れた考え方をすることができる。

実生活や既習事項と学習を結びつける導入の工夫

- ・児童の主体性を促し、児童自ら課題として設定できるような問いの工夫

- ・児童の身近な課題、共通した体験等から生まれた課題の工夫

高学年

自分や家族の中のお金について理解し、課題についてよりよく考え交流し、生活に生かそうとする子

中学年

自分や家族の中のお金について理解し、自分の考えを他者と交流し、実生活と結びつけながら課題を解決しようとする子

低学年

自分や家族の中のお金について知り、自分の考えを伝え、実生活と結びつけながら考えようとする子

対話的・体験的活動を活性化させる手立ての工夫

- ・役割演技等の動作化を行う。

- ・ICT 機器の活用

- ・二人組・三人組のグループ活動の場の提供

- ・知識構成型ジグソー法を取り入れた対話の工夫

- ・グループの考えの可視化により、比較・検討する中で新たな課題を見出す場の工夫

【児童の実態】

- ・その人の言いたいことや気持ちを考えて聞く力や自ら進んで情報を集めようとする態度が十分でない
- ・学習に対して受動的な児童が多い